

地域社会における 国際化モデルの構築

～ 栃木県真岡市の国際化教育を通して～

宇都宮大学 国際学部 中村祐司研究室

鮎ヶ瀬 琢子

小林 令子

榊内 梓

要旨

真岡市の国際化を通して、私たちは地域社会における国際化モデルを構築するために、インタビューやホームページを参考に次のように研究を進めていった。

1 において、研究の目的、理由を記した。

2 においては、国内の国際化の現状と題し、(1) 全国の外国人登録者数とその総人口に占める比率、(2) 国籍別外国人登録者数とその総人口に占める比率、(3) 栃木県、宇都宮市、真岡市の外国人登録者数とその総人口に占める比率を表で表し、真岡市に居る外国人の割合がいかに多いかを明らかにした。

3 においては、(1) 真岡市の概要で、真岡市を紹介し、(2) 真岡市の国際化の歩みで、なぜ真岡市に多く外国人が集まったかを明らかにした。

4 においては、人口、市政、教育の分野から真岡市をみて、特徴を明らかにしたうえで、地域社会の国際化に重要なことを強調した。

5 においては、1 から 4 までにおいて真岡市の国際化を知った上で、地域社会における国際化モデルを組み立てた。

そして、6 においてまとめた。

目次

- 1 . はじめに (P 3)
- 2 . 国内の国際化の現状 (P 4)
 - (1) 全国の外国人登録者数とその総人口に占める比率
 - (2) 国籍別正規入国外国人数とその総人口に占める比率
 - (3) 栃木県、宇都宮市、真岡市の外国人登録者数とその総人口に占める比率
- 3 . 真岡市の国際化への歩み (P 5 ~)
 - (1) 真岡市の概要
 - (2) 真岡市の国際化への歩み
- 4 . 真岡市の国際化の特徴 (P 8 ~)
 - (1) 人口
 - (2) 市政
 - (3) 教育
- 5 . 理想的な地域の国際化 (P 1 1 ~)
- 6 . まとめ (P 1 3 ~)

1 . はじめに

ジョイントの共通テーマ「地域の国際化」を研究するにあたり、まず私たちは「地域の国際化」とは何かを考えた。ここで言う私たちの「地域の国際化」とは、「外国人を特別に意識せず、同じ地域の住民として受け入れられる、心のバリアフリーを地域の住民一人ひとりが心がけていくこと」とする栃木県の定義を採用する。

心のバリアフリーを実現するためには、先入観のない子どものうちから外国人と接する必要があると考えた。そこで、外国人登録者数の比率が県内一高く、市内 6 中学校中 4 中学校が姉妹校を持つ真岡市を取り上げ、かつ教育に重点を置いて、地域社会における国際化について研究することに決めた。まず始めに、真岡市との比較対象として私たちの住む宇都宮市の国際交流を担当する市役所秘書課を訪問した。そこでは、市役所秘書課と民間団体である宇都宮市国際交流協会が同じ部屋で働くという興味深い光景を目の当たりにした。宇都宮市の国際交流事業については資料として紹介する。

次に、真岡市役所や、国際交流の盛んな小・中学校を訪問し、担当の方にお話を伺った。姉妹校をもつ各学校には「W E L C O M E」と書かれたアーチが正門にあったり、国際的な掲示物も多かった。さらに幸運にも日本語教室の授業風景を見学させていただくこともできた。

これらの訪問での貴重なお話や資料、インターネットでの情報をもとに真岡市の国際化を教育面に重点を置いて分析し、それを受けて私たちが考える「地域社会における国際化モデル」を築いていきたい。

２．国内の国際化の現状(2003)

（１）全国の外国人登録者数・総人口に占める比率

1,915,030 人

1.5%

（２）国籍別正規入国外国人数とその総人口に占める比率

国籍	韓国	中国（台湾）	アメリカ	中国	フィリピン	イギリス
数	1,621,903 人	816,692 人	678,935 人	537,700 人	209,525 人	206,331 人
比率	28.3%	14.3%	11.9%	9.4%	3.7%	3.6%
国籍	イギリス(香港)	オーストラリア	カナダ	ブラジル	その他	
数	97,720	175,315	129,460	79,692	1,173,967	
比率	1.7%	3.1%	2.3%	1.4%	20.5%	

入国管理局ホームページより作成。

（３）栃木県、宇都宮市、真岡市の外国人登録者数とその総人口に占める比率

	栃木県	宇都宮市	真岡市
県、市の総人口	2,012,920 人	446,881 人	65,898 人
外国人登録者数	31,549 人	7,728 人	3,187 人
比率	1.57%	1.7%	4.84%

栃木県ホームページより作成。

3．真岡市の国際化への歩み

(1) 真岡市の概要



mapion H P <http://www.mapion.co.jp/index.html> より

< 人口・面積 >

・人口 65,898 人 面積 111,76 km^2

< 産業 >

工業 ・工業団地—昭和 43 年に第 1、第 2 工業団地が、平成 10 年に第 3、第 4 工業団地が完成。現在第 5 工業団地を建設中。企業を誘致している。

農業 ・圃場整備率 91.1% 特産物 干瓢、イチゴ、プリンスメロン、ナス

商業 ・区画整理や道路拡事業などにより産業環境の進展期にある。

北関東自動車道 真岡 IC が 2007 年に開通予定。

・デパートやスーパーなど大型店の進出→中型・小型店が集まったショッピングモールへ移行。2003 年に誕生、現在も店は増加中。

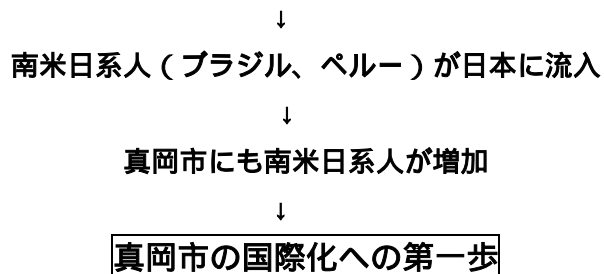
< 誕生 >

- ・ 真岡→旧奥州街道沿いの要所江戸時代後半に栄える。
- ・ 1954 年 3 月、町村合併により真岡町の誕生。(人口 41,505 人)
- ・ 同年 10 月、市制施行し「真岡市」とする。(人口 41,872 人、)

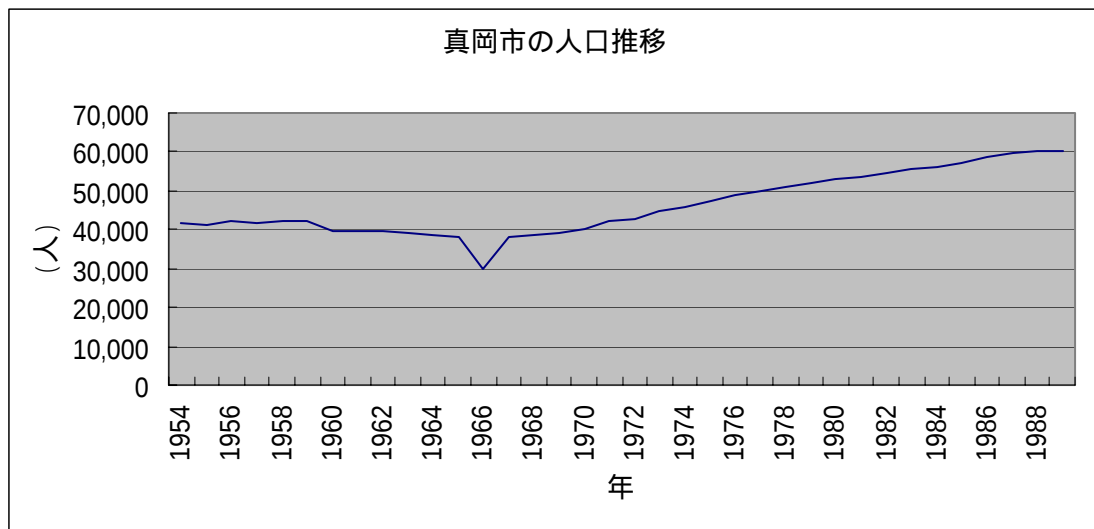
<人口増加の背景>

- ・市制施行後、市内に雇用が少なく人口流出→過疎化
 - ・1964 年、首都圏整備法
都市開発地域に指定、工業団地造成に着手。(人口 38,685 人)
 - ・工場の設立により労働力の需要が高まる。
- 人口の流出が弱まり、かつ市外からも人口流入→真岡市の人口増加

*平成元年(1989) **入国管理法の改正**・・・南米日系人とその配偶者や子供に就労・在留資格を認める。

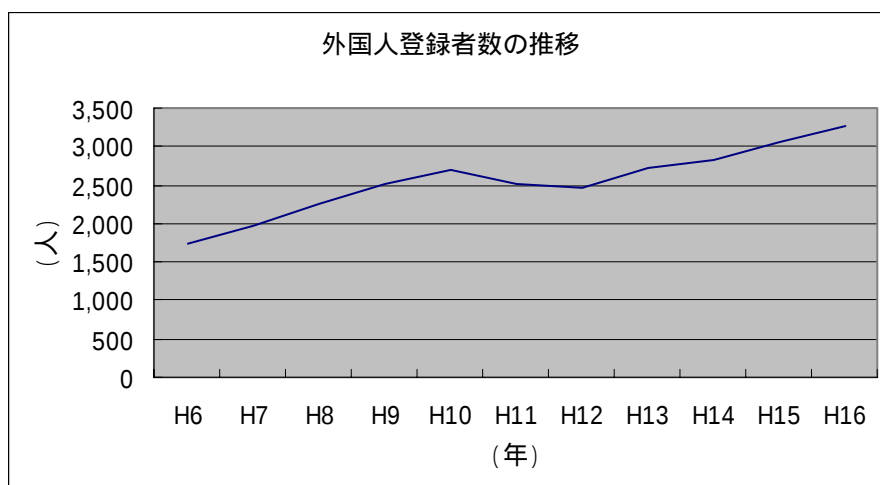


図表 1 真岡市の人口推移(1)



真岡市役所ホームページ「真岡市の歴史年表」より作成。

図表 2 真岡市の外国人登録者数の推移



真岡市役所から頂いた資料より作成。

(2) 真岡市の国際化への歩み

図表 3 真岡市の国際交流年表

年	内容
S59(1984)	8 月 台湾 雲林県 斗六 (トロク) 市と交流開始 10 月 米国 カリフォルニア州 グレンドーラ市と交流開始
S61(1986)	姉妹都市調査委員会発足
S62(1987)	真岡市海外友好協会発足
S63(1988)	米国 グレンドーラ市と姉妹都市締結
S64・H1 (1989)	5 月 グレンドーラ市から 5 人の AET 来日 11 月 真岡東中学校生徒 40 人がグレンドーラ市訪問
H 2(1990)	7 月 ガダード中学校生徒来市 10 月 真岡東中学校とガダード中学校が姉妹校締結 以後、現在まで隔年毎に相互訪問
H 5(1993)	7 月 真岡西中と正心高級中学校 (台湾 斗六市) 以後、現在まで隔年毎に相互訪問
H11(1999)	大内中学校と北京市第五中学校と姉妹校締結 以後、現在まで隔年毎に相互訪問
H15(2003)	10 月 真岡中学校とオーストラリンド中学校 (西オーストラリア州) と姉妹校締結 以後、現在まで隔年毎に相互訪問

真岡市役所ホームページ「真岡市の歴史年表」より作成。

4 . 真岡市の国際化の特徴

(1) 人口

図表 4 外国人登録国籍別人員調査表

H16 年 9 月 30 日現在 総数 3,306 人

国籍	ブラジル	ペルー	フィリピン	ボリビア	タイ	中国	韓国・朝鮮
人数	1,552 人	935 人	174 人	150 人	144 人	134 人	69 人
比率	46.9%	28.2%	5.2%	4.5%	4.3%	4.0%	2.0%
国籍	イラン	パキスタン	バングラデシュ	ベトナム	米国	その他	無国籍
人数	28 人	28 人	20 人	13 人	13 人	43 人	3 人
比率	0.8%	0.8%	0.6%	0.3%	0.3%	1.3%	0.0%

真岡市役所から頂いた資料より作成。

- ・ブラジル、ペルー出身者が多い。(← 3 (1) 入管法改正)
- ・現在、真岡市の外国人登録者数は増加傾向にある。(← 図表 2)
- ・現在ある第 1 ～ 第 4 工業団地に加え、第 5 工業団地も建設中。
→ 今後も外国人登録者数は増加すると予想される。
- ・総人口に占める外国人の比率高い。(4.84) → **生活の中に外国人がいることが普通**

(2) 市政

* 真岡市海外友好協会

- ・ 1987 年 (S62) 友好姉妹都市と真岡市民との相互理解と親睦を目的に市が設置。
- ・ 真岡市の国際交流の中心。(海外青少年訪問団の受け入れ、加入団体の渡航援助など)
- ・ 国際化時代に向けた広報活動。(パンフレット作成・配布)

* 市役所

- ・ 外国人相談窓口の設置。(2003 年) ポルトガル語とスペイン語対応。
相談内容を各課に振り分ける。 特別に外国人用の課があるわけではない。
→ 「外国人も日本人も同じ」という考え

↓

「日本人」「外国人」と区別する概念が薄くなる



外国人への心のバリアフリー

- ・日本語クラスを持つ小・中学校への通訳の派遣。(費用を負担)
- ・真岡市の国際交流は主に姉妹校交流。

(3) 教育

- ・工業団地→南米系外国籍の人が多く住む。



- ・多くの小・中学校に外国籍の学生がいて日本語指導をしている。

事例1：真岡東中学校...10人→日本語クラスあり。 国際理解部・委員会。

事例2：真岡西小学校...90人→日本語クラス(ハロールーム)あり。 クラスに一人はいる。 内地留学経験のある教師の配置。 毎日通訳もくる(市の費用)。 挨拶運動。

- ・市内6中学校のうち4校が姉妹校をもつ。

真岡中学校 オーストラリア西オーストラリア州オーストラリンド校

真岡東中学校 アメリカグレンドーラ市ガダード中学校

真岡西中学校 台湾 正心高級中学校

大内中学校 中華人民共和国北京市第五中学

→市レベルの公式だった交流ではなく**学校レベルでの交流**をはかっている。

→ホームステイや、祭りへの交流団の参加により、子どもばかりではなく、**親や地域住民も**自然と国際化を目にすることができる。



市民にとって国際化が身近なものとして感じられる



市民主体の国際活動につながる

<「内への国際化」と「外への国際化」>

*日本語指導、日本人と同じ環境での教育 → **内への国際化**

*姉妹校交流、挨拶運動、国際理解活動 → **外への国際化**

どちらかだけに偏ってはいは駄目

「内への国際化」と「外への国際化」双方が必要



真岡東中学校の教室

全ての教室に姉妹校であるアメリカと日本の国旗が掲げてある。

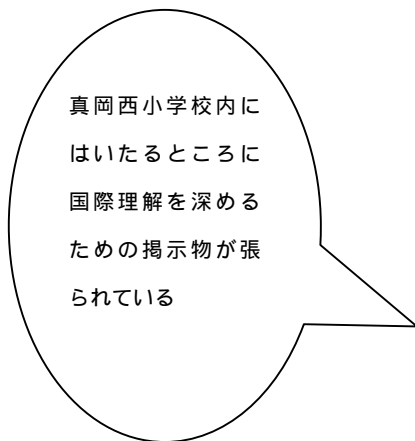
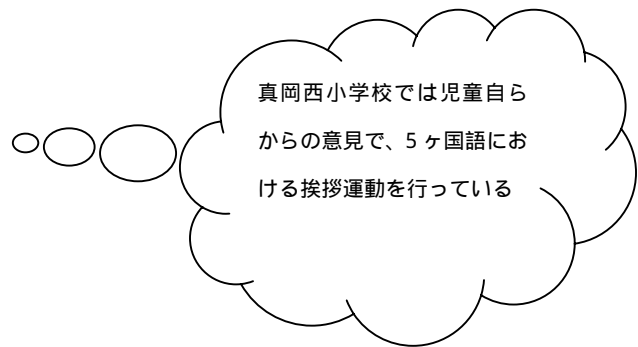
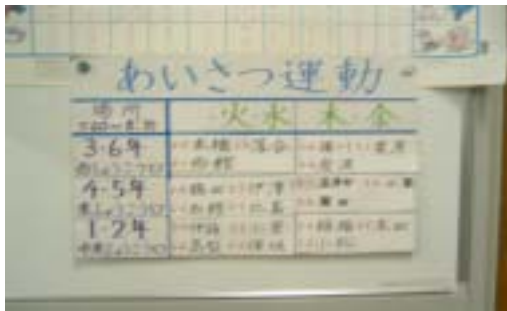


真岡東中学校日本語教室の授業風景

一人ひとり時間割りが違い、在籍しているクラスと日本語クラスを行き来する。日本語クラスでは個人的に勉強し、担当教師が分からないところを教える。

真岡東中学校の
正門





...04年11月11日 真岡市立真岡東中学校にて撮影

...04年11月11日 真岡市立真岡西小学校にて撮影

5．地域社会における国際化モデルの構築

< まずはじめに >

自然に外国人と触れ合える環境作り



相互理解へ



心のバリアフリー

< プロセス >

第一段階

行政主導の国際化



第二段階

学校主導の国際化

← 現在の真岡市の国際化



最終段階

市民主体の国際化へ

< 行政と市民の関係 >

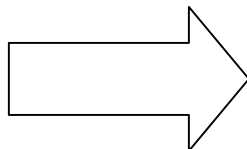
行政・・・バックアップ



学校・・・媒体

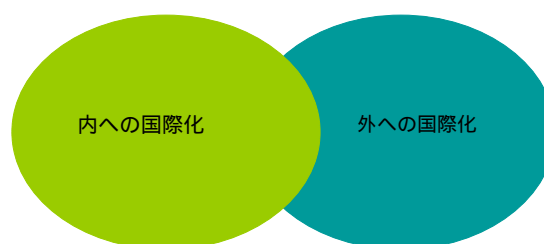


市民・・・主体



バランスのとれた関係

< 「内への国際化」と「外への国際化」 >



５．まとめ

真岡市の国際化は、積極的に国際交流しようという形ではなく、工業団地の存在や入国管理法の改正による外国人の増加から現実を受け止めるという形で始まった。

学校では外国人労働者の子どもたちを受け入れ、その子どもたちを通して親や地域の住民も自然と外国人について考え、受け入れる必要があった。自ら望んだ状況ではなく、むしろ強いられた状況からではあるが、そういった状況があったからこそ、真岡市では市民に根付いた国際化を進めていくことができたのではないかと。また、真岡市は小規模な都市であり、密な市づくりができていることが外国人をも身近に感じる要素になったのではないと思う。もちろんそれだけではない。姉妹友好都市としての交流よりも姉妹校との交流が盛んであり、ここでもより小さな規模での交流が可能である。外国人への恐怖心や偏見を持つ前の子ども時代から同じ一人の人間同士として触れ合い、部活動や委員会で国際理解を深めようとしている。このような学校での積極的な国際化への動きが、真岡市の国際化の基盤となって重要な役割を果たしている。つまり、現在の真岡市の国際化は、心のバリアフリーを住民一人ひとりが実現するという、これからの国際化社会で必要とされるであろう「地域の国際化」に近づいていると言える。

真岡市の国際化が、私たちが考える「地域社会における国際化モデル」により近づくためには、内への国際化の強化が必要だと感じた。学校に外国籍の学生が増える中、国際化教育を受けていない教員が多い。内地留学を行っても、その後の移動で関連の役職につけないことが多いからだと聞いた。外国籍の学生に対する教育において最も重要かつ難題であるのが日本語教育であると思う。私たちが訪問した小・中学校には日本語教育について学んだ経験のある教員はいなかった。言葉がわからなければ授業を理解することは難しい。外国籍の学生が日本人と同じように生活していけるように、教員にも教育すべきである。さらに、真岡市は現在学校主体の国際化の段階であるが、より市民に近い、市民主体の国際化を目指すためにも、行政は資金面などにおいてさらにバックアップし、学校も市民も動きやすくなるよう努めてほしいと感じた。

資料 1





上段 8 枚...04 年 11 月 11 日 真岡市立真岡東中学校にて撮影

下段 2 枚...04 年 11 月 11 日 真岡市立真岡西小学校にて撮影

資料 2

栃木県内国際交流協会の概要

	名称	主な活動内容
1	足利市国際交流協会	在住外国人との交流・語学学習・異文化理解・友好、姉妹都市交流・外交の窓 in あしがが・青少年国際交流エッセイコンテスト・アメリカンビレッジ
2	今市市国際交流協会	姉妹都市交流（公式訪問団・中高生交流・教育・専門職） 講演会・講座・在住外国人交流会・日本語教室・ネットワークづくり・会員交流
3	宇都宮市国際交流協会	日本語講座の開催・地域在住外国人との交流・ 研修会（日本語講師養成・通訳・ホームステイ・日本文化紹介）姉妹友好都市との交流・私費留学生への生活物品貸与
4	大田原国際交流会	オーストラリアとの親善大使派遣・那須国際交流フェスティバル・ネパール小学校建設と交流・語学教室・アジア学院、日本国際飢餓対策機構への協力 ホームステイ受け入れ・各国文化の紹介・レクリエーション
5	小山国際交流協会	交流事業（外国人向け異文化体験事業・世界の料理教室・スポーツ交流会・インターナショナルフェスティバル・研修事業（日本語講座・フランス語講座・ポルトガル語） サークル活動(中国語)
6	鹿沼市国際交流協会	交流交歓（鹿沼ワールドフェスティバル・各種交流事業 諸外国訪問団受け入れ・市民訪中団の派遣）教室・講座 (外国語教室・日本語教室・日本語教授法セミナー・料理教室) 情報収集及び提供（国際理解に関する図書、ビデオ日本語教材の貸し出し閲覧） 人材バンクの活用及びボランティア活動支援
7	黒磯市国際交流協会	生活マニュアルの作成等による地域情報等の提供 こうりゅうひろば(日本語教室)の開催・語学人材の育成登録派遣 地域リーダーの育成及び活用・ホストファミリーの登録及びホームステイの受け入れ

		国際交流団体への加入
8	佐野国際交流協会	情報提供(図書・国旗・茶道具等の貸し出し) 広報出版(機関紙・外国人のための生活便利帳・さのガイドブック) 姉妹・友好都市交流・研修(外国語教室) 外国人との交流(国際交流フェスティバル・スポーツ交流・1日バス交流)
9	栃木市国際交流協会	情報収集、提供・友好都市、姉妹都市との交流、訪問団派遣受け入れ、技術研修生受け入れ・市民訪中団派遣・国際交流の集い・研修事業(日本語講座・中国語講座・英会話教室・食文化体験交流会) 民間交流団体活動支援・友好都市、姉妹都市活動団体支援
	日光国際交流協会	情報交換・季節の行事における交歓会・日本文化の経験 日本語・外国語講座・各種講座・各国文化の紹介・ホームステイ相談 留学のアドバイス・ハイキング
10	真岡市国際交流協会	姉妹都市・友好都市との相互交流・海外青少年訪問団受け入れ 加入団体の渡航援助・国際化時代に向けての広報活動
11	石橋町国際交流協会	ドイツ語講座・情報の提供・在住外国人との友好交流事業・姉妹都市との友好交流事業・イベントの開催
12	氏家町国際交流協会	国際交流の啓発、普及推進、世界の人々との文化、産業、スポーツ等の交流促進、国際情報、資料の収集と交換、町内在住の外国人との交流。
13	大平町国際交流協会	通訳・翻訳ボランティアの募集、登録・研修(町事業の日本語講座の開設)国際交流相談(在住外国人の各種相談)交流交歓(地域の人たちとの交流事業)・国際交流団体への協力援助・情報の収集提供
14	烏山町国際交流協会	町内在住外国人との交流・国際交流員にたいする講習会と研修会・ホームステイ補助事業・民間外交の推進・他団体との交流
15	上三川町国際交流協会	賛同者募集・会員による国際交流活動の援助・ 産業経済及び観光振興に関する相互協力の推進 教育文化芸術等の相互交流の促進・ホームステイ等受け入れ態勢の整備
16	喜連川町国際交流協会	国際交流の情報の収集、提供及び調査に関すること 国際交流の啓発に関すること・国際交流事業の推進に関すること・関係機関、団体との連絡協調及び受託事業に関すること・その他
17	黒羽町国際交流協会	ふれあい交流会・外国文化交流会・視察研修

国際学研究科国際社会研究専攻・大嶋久美子/レジュメ

資料3 関東地図



<http://kyuyou-mura.htm.ne.jp/kantou/index.html> より

参考文献

宇都宮市、真岡市、真岡市立東中学校、真岡市立西小学校より資料提供

参考ホームページ

宇都宮市公式ホームページ

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/index.htm>

真岡市公式ホームページ <http://www.city.moka.tochigi.jp/>

中村祐司研究室ホームページ <http://gyosei.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

入国管理局ホームページ <http://www.moj.go.jp/NYUKAN/>

栃木県ホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

mapion ホームページ <http://www.mapion.co.jp/index.html>

インタビュー協力

宇都宮市 行政経営部秘書課国際交流グループ グループリーダー

上野 元義氏

宇都宮市国際交流協会 事務局長 橘 晴征氏

真岡市役所 秘書課

真岡市役所 市民課

真岡市立真岡東中学校 関 洋一校長

真岡市立真岡西小学校 佐藤 和之氏 苅部 絵美氏